

2021年 3月 1号 接待疑惑を許さない! いのちを守る教育を! 平和憲法を護る!



「教育委員会は正しかった」 早川三根夫教育長 無所属ク議案精読 冒頭40分激論

長良小プール建設経過は「見解の相違」 教育長主張し

3月5日、無所属クラブの3月議会当初予算議案精読会で教育委員会議案の説明会が開会されました。はじめに、昨年の11月議会で「長良小学校プール建設削減議案が修正された」後の「建設へ向けての経過説明」が教育委員会事務局長から行われた。が、

無く指摘 行政混乱させた責任、誰にある?

「黙して語らず」の教育長に対し、田中無所属クラブ代表から「当初予算が入札不調後に迅速に再入札していれば、税金を浪費せず、プール建設を2年も遅れさせる混乱を生じなかった。建設費削減予算の修正など議会全体を巻き込んだ混乱の原因は、明らかに教育長にあると考えるが、今日の議案説明に入る前に教育長の謝罪から入るべきではないか」と指摘。

対し、「教育委員会は、まちがっていたとは、今も考えていない」「議会判断とは見解の相違」「二代表制の結果で（建設する事になっただけ）」「（入札不調後の住民説明会は）民間プール活用など子どもの泳力教育を考えた行動」と強弁。「教育委員会は間違っていないので、謝罪の必要ない」との教育長の態度。

教育委員会と教育長の使い分け 明確必要

早川三根夫教育長は、入札不調後にプール建設方針を変更する説明を、他の教育委員へ行く時「この決定は、議会決定に反する決定になります。」と説明していない。以前から文教委員会で「十分説明した」と答弁していない。曰く、未成熟な説明中で「他の教育委員の承認をとったかの経過を利用して」「教育委員会のプール否建設決定」を導き出した。明かに混乱は早川三根夫教育長の主導である。彼の責任回避姿勢が目につく。

子どもを巻込む プール建設題材の討論会不適切 住民説明8回も

議会説明も無いまま、住民説明会は8回開催。議案（削減）提案前に、既成事実の積み上げが推進された。驚く事に、教育現場では「プールがあったほうが良いか」「無くても良いか」と子どもを2グループに分けて討論させている。早川三根夫教育長の方針推進の道具に「子どもの討論を利用」という悪手を教育者が行っている事に、その後も彼に反省の色は無いようだ。

(うら面につづく)

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

教育長が正しいなら、 議会は「間違っていたのか」？

松原のりかず

「教育長が正しい」なら「議会の議決（プール建設の）が間違いだと、主張されるのか？」
松原のりかずが指摘。・・・さすがに、彼の反論が無い。

当初予算が可決されたが、入札不調。不調後に、民間プール活用や、建設の是非論、
を持ち出している。議会説明も無いまま住民説明会だけは8回も開催し、既成事実を積
み上げて、「以前からのまじめな議論」と宣伝する。必要な議論なら当初予算提案前
に行なうべきである。

「今日も、当初予算の説明をされる」が、これも「教育長の気が変わったら」「ある
日、変更されるのか」「そんな議案の質疑を議員は行うのか？」と指摘したら、ようや
く、教育長は謝罪（座ったまま）された。

小学生討論会 環境問題（レジ袋など）題材 他にあるのに

昨年、長良小学校の生徒さんに、「プール建設の是非」を題材に討論会を行っている。
議会予算は「建設可決」だが入札不調後の事実。生徒の討論会の題材として、適切とは
到底思えない。議会には何も知らせぬまま、既成事実、しかも利用者の子どもに既成事
実を押し付ける「悪手」この上ない。

現代なら、世界的には「環境問題」で「身近なレジ袋」「地球温暖化」や、岐阜市な
ら、まさに一年議論されるべき「いじめ」「命の尊厳」がある。「プール建設是非」を題
材に選択するのは教育長の大人の都合であろう。

自民発送文書 「夫婦別姓、賛同しないで」の波紋

本年2月25日、新聞各紙が自民党の国会議員有志が47都道府県のうち自民党所属
の約40人議長に「選択的夫婦別姓制度導入に反対する」「制度導入に賛同する意見書
を地方議会で採択しないよう求める」文書を送付（1月30日付）していたことを報道
した。丸川珠代男女共同参画担当相（担当相就任前に）も名前を連ねている。文書は衆
参国会議員の50人連名。地方議会への「圧力」では、との報道がある。

岐阜市議会は、令和2年3月26日に「日本政府に選択的夫婦別姓の導入など、一日
も早い民法改正を求める意見書採択についての請願」を採択。「**選択的夫婦別姓の導入
など、一日も早い民法改正を求める意見書**」を令和2年3月26日付で国会及び関係行
政庁宛に送付している。



松原のりかず
☎058-253-2500